

るのである。その春の光をあたへその春の雨をそ
ぐ人こそは母親である。家庭の王國の女王であ

る。あゝその美しい心の姿よ、吾人はそこに永遠
の幸福と力との宿らむことを祈るばかりである。

幼稚園の卒業式

學習院教授 野口 幽 香

幼稚園の卒業證書は學習院の方では始めの中は
しなかつたのですが、近頃する事に致しました。

さてして見ますと、大變にその結果がよいと云ふ
事がわかつて參りました。幼稚園といふものが子
供の記憶から消えないといふよい結果を見る事が
出来ました。大きくなつてから此の記念の證書を
出して見て幼稚園を思ひ出す、たつた一ひらの紙
ですが、幼稚園と子供の生涯をつなぐ大變に價値
のあるものになるのです。

其後貧民幼稚園の方でも思ひついて、證書をや
る事に致しました。貧民の方ではもつと大切な事
でありました。何年間此の幼稚園で保育を受けた

といふ事が子供の一生に取つて非常な喜びであり
かつ其證書は將來職業を求むる上に於てもよほど
の便宜を得る事になるのです。證書の文句は學
習院の方は別に面白いものでもありませんが、貧
民の方は左の通り認めて居ります。

「右は二葉幼稚園に於て保育を受けたる事を證す
神を信じます／＼善良ならん事を祈る」

幼稚園としてはもちつと子供らしいよい詞がほ
しいのですが、今一寸考へつきませんから、教へ
て下さる人があるまでこのまゝにしておくつもり
です。それから裏に園歌を記して、設立者二人の
名を書きます。

子供が一番おしまいに幼稚園に來ました日に、
學習院では花壇の苗を分配してやります。また前
年の種を採集しておいた種類を分けてやる事もあ
ります。柿の種やら椿、藤、密柑などありあばせ
を分配するのです。そして「今日歸つたら直に蒔
いておきなさい、おなた方が大きくなる時分に
花が咲くから」と云ひさせますのです。一粒の
種が毎年成長して花が咲き出した時分に、之を眺
めて幾度か反復すれば、記憶がいつまでも新しい
くせらるゝであらうと思つて、御座ります。かつ
將來疲れた時には此花の下でやすめといふつもり
なのです。

貧民幼稚園の方では、卒業式には御馳走をしま

附添人を離れぬ子供

す。赤飯をやりまます。それから動物園へつれて行
く事にして居ります。辨當をこしらへて、電車を
買ひ切つてつれて行きますのです。これは子供の
大變な楽しみになつて居ります。入學の當初から
そんないたづらをする動物園へ行かれないよと
云つて母親がたしなめて居るのをきゝました。そ
んなに印象を深くして居るのですから、其日の事
は生涯忘れないでせうと思つて居ます。

寫眞は撮る事に致して居ります。始めは氣がつ
かずに居りましたが此頃は毎年撮ります。貧民幼
稚園の方では價段を特別にやすく致しまして、平
生からの積金で買はせて居ります。寫眞と證書を
生涯の記念にしようと思ふのであります。

福島幼稚園

須子

トミ

或る幼兒祖母に附添はれて通園すること半歳、

いくら置去らんとしてもきゝ入れませぬ。祖母も